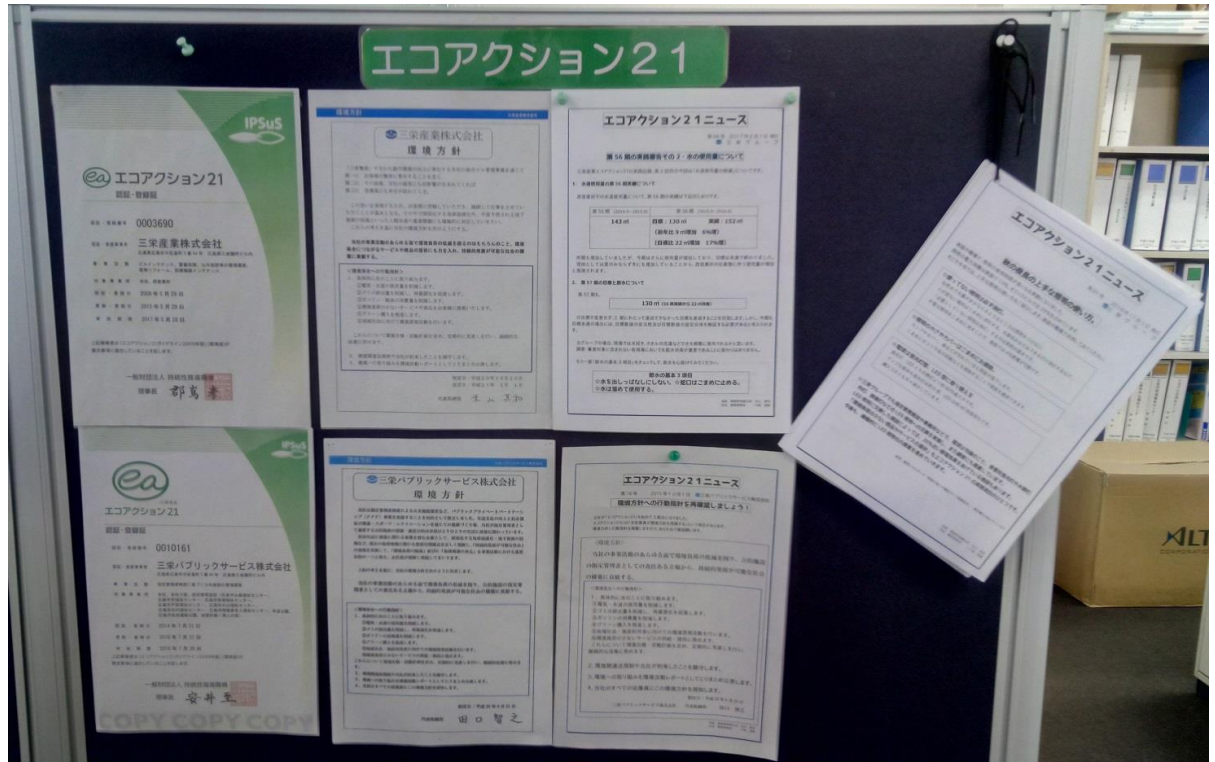


環境活動レポート

(期間：第57期 平成28年9月1日～平成29年8月31日)



(エコアクション21 告知スペース (西営業所))

平成30年4月10日発行

1 環境方針

三栄産業株式会社は、次の環境方針に基づき環境保全活動に取り組んでいます。

環境方針 三栄産業株式会社

「三者繁栄」すなわち都市環境の向上に奉仕する当社の総合ビル管理事業を通じて

第一に お客様の繁栄に寄与することを念じ

第二に その結果、当社の経営にも好影響が生まれてくれば

第三に 従業員にも幸せが訪れてくる。

この思いを実現するため、お客様に信頼していただき、継続して仕事をさせていただくことが基本となる。その中で深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇といった人類共通の重要課題にも積極的に対応していきたい。

これらの考えを基に当社の環境方針を次のようにする。

当社の事業活動のあらゆる面で環境負荷の低減を図るのはもちろんのこと、環境保全につながるサービスや商品の提供にも力を入れ、持続的発展が可能な社会の構築に貢献する。

<環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組めます。

- ①電気・水道の使用量を削減します。
- ②ゴミの排出量を削減し、再資源化を促進します。
- ③ガソリン・軽油の消費量を削減します。
- ④環境負荷の少ないサービスや商品をお客様に提案いたします。
- ⑤グリーン購入を推進します。
- ⑥地域社会に向けて環境啓発活動を行います。

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：平成20年10月20日

改訂日：平成27年1月1日

代表取締役 米山 真和

2 組織の概要

(1) 事業者名および代表者氏名

三栄産業 株式会社
代表取締役 米山 真和

(2) 所在地

本社 〒730-0011 広島市中区基町5番4号(広島商工会議所ビル内)
西営業所 〒733-0035 広島市西区南観音7丁目6番2号

(3) 環境管理関係者の連絡先

環境管理責任者 : 田口 智之 (取締役 ビルメンテナンス事業部長)
環境事務局担当 : 今城 透雄 (西営業所 ビルメンテナンス事業部)
連絡先 : ☎082-232-0533 (<http://www.3ei-kk.com/>)

(4) 主な事業内容

ビルメンテナンス、警備保障、公共施設等の管理運営、建物リフォーム
設備機器メンテナンス

(5) 事業の規模

売上高 1,229百万円 (第57期・平成29年8月)
総従業員数 399人 (平成29年12月)
床面積 411㎡ (平成29年12月)

(6) 対象範囲 (認証・登録範囲)

①組織：本社及び西営業所管轄の全組織

②事業活動：上記(4)のとおり。

3 環境目標

項目 【基準】	第56期 (H27.9~H28.8)	第57期 (H28.9~H29.8)
電力の二酸化炭素排出量の削減 【第48期 33,658kg-CO ₂ 】 【第48期 46,233kWh】	△30% 23,560kg-CO ₂ 32,363kWh	△30% 23,560kg-CO ₂ 32,363kWh
ガソリンと軽油使用料の削減 【第48期 91,661 kg-CO ₂ 】 【第48期 ガソリン 26,469ℓ】 【第48期 軽油 11,546ℓ】	△15% 77,912 kg-CO ₂ 22,498ℓ 9,814ℓ	△20.5% 72,870 kg-CO ₂ 21,043ℓ 9,179ℓ
自動車燃費の向上 【第50期 9.87 km/ℓ】	+30% 12.83 km/ℓ	+30% 12.83 km/ℓ
環境負荷の少ないサービスや商品を提供する	4件/年	4件/年
グリーン購入の推進	2件/年	2件/年
一般廃棄物の削減 【第51期 394 kg】	△30% 276kg	△30% 276kg
水道使用量の削減 【第48期 270 m ³ 】	△52% 130 m ³	△52% 130 m ³
地域社会に向けた環境啓発活動	2か所/年	2か所/年

注1：電気の二酸化炭素排出量は中国電力㈱の平成22年度排出係数0.728を使用しています。

注2：化学物質の排出に関しては少量であることから目標を設定せず、適切に管理していることを定期的に確認することとしています。

4 環境目標の実績

第57期の環境目標達成状況【期間：平成28年9月～平成29年8月】

項目	目標値	実績	評価
電力の二酸化炭素排出量の削減	23,560kg-CO ₂ 32,363kWh	24,186kg-CO ₂ 33,222Wh	×
ガソリンと軽油使用量の削減	72,870 kg-CO ₂ ガソリン 21,043ℓ 軽油 9,179ℓ	65,537 kg-CO ₂ ガソリン 23,021ℓ 軽油 4,607ℓ	○
(参考) CO ₂ 排出量	96,430kg-CO ₂	89,723kg-CO ₂	○
自動車の燃費向上	12.83 km/ℓ	12.34 km/ℓ	×
環境負荷の少ない商品やサービスを提供する	4件/年	3件/年	×

項目	目標値	実績	評価
グリーン購入の推進	2 件/年	1 件/年	×
一般廃棄物の削減	276kg	378.86kg	×
水道使用量の削減	130 m ³	157 m ³	×
地域社会に向けた環境啓発活動	2 か所/年	3 か所/年	○

注 1：電気の二酸化炭素排出量は中国電力株の平成 22 年度排出係数 0.728 を使用しています。

5 環境活動の取り組み内容と結果の評価および次期への取り組み

取組内容	結果の評価と次期の取り組み内容
電力の二酸化炭素排出量の削減 ・ 不要照明の消灯 ・ クール・ウォームビズ運動 ・ 外出時のPCの電源OFF ・ 冷房 28℃、暖房 20℃	西営業所の空調機を入れ替えたことにより低圧電力は大幅に減少したものの、電灯電力が業務の拡大や人員の増強に伴い増えている。 昨期より使用量が削減できたものの目標には未達。 照明・PC 関係の電灯電力に関してはさらなる削減努力を進めていく必要があるのではないか。
ガソリンと軽油使用量の削減 ・ アイドリングストップ ・ 急加速、急停車の防止 ・ 冷暖房の控え目使用	軽油使用量が減少していること（トラックの入れ替えも功を奏しているのかもしれない）社用車に関しても燃費の良い車に数台切り替わっており、目標に達している。 このまま継続して実績を積み重ねていくこと。
自動車の燃費向上 ・ アイドリングストップ ・ 急加速、急停車の防止 ・ 冷暖房の控え目使用	車の入れ替えなどで向上した面もあり、単月では目標に達している月もあるものの、冷房使用時期の燃費の悪化などもあり、最終的には目標に達していない。 ある程度改善してきていることは事実だが、再度空調やエコドライブへの啓蒙が必要ではないか。
環境負荷の少ない商品やサービスを提供する ・ 省エネ対応機器（照明等）の取替工事	3 箇所提案した LED 証明切り替えを受注に結びつけたが、目標の 4 件には満たず。今後も受注物件での提案を継続して行う。
グリーン購入の推進 ・ 消耗品は環境に配慮したものに切替える	前期の段階で計画のあった空調機の入替えにとどまる。定期的に入れ替えている PC、平素購入する備品はグリーン購入品ではあるが、新規が見当たらない感がある。
一般廃棄物の削減 ・ ミスコピーの防止 ・ 印刷前確認の励行 ・ 古紙のリサイクル化 ・ 4R 活動の推進	目標値を大幅に下回った。従業員数の増加や業務の拡大など、排出量と目標値に乖離があり、目標の見直しが必要ではないか。

取組内容	結果の評価と次期の取り組み内容
水道使用量の削減 ・節水呼びかけ	最終的に目標未達な上に夏場の使用量が増加し昨期より増加。業務の拡大に伴い洗濯機や機器の洗浄などで使用量が増加しているが、数値目標の見直しも必要ではないか。
地域社会に向けた環境啓発活動 ・グリーンカーテンの作成 ・地域で行われる環境保全活動への参加	地域の清掃奉仕活動参加2件（参加予定だった1件は悪天候のため中止になったもの有り）、グリーンカーテン実施1件で目標を達成。

6 代表者による全体の評価と見直し

上記の実践を踏まえ、平成29年11月12日に代表者による全体の評価と見直しを行いました。

※環境経営システムは概ね有効に機能している。

※継続的に進めているが、目標未達が多く、改めて社内への目標の周知徹底を図ること。

※達成できなかった目標に関して、見直しを図ること。

※今期の目標数値に関して、原則として昨期実績をベースに改善を図るよう見直すこと。

7 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

適用される主な環境関連法規制

廃棄物処理法・自動車リサイクル法・建築物衛生法・消防法・フロン排出抑制法

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はありませんでした。また、関係機関などからの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

8 第58期以降の環境目標

上記の実践を踏まえた上で、第58期・第59期の環境目標を下記のとおり見直しました。

項目 【基準】	第57期 (H28.9~H29.8)	第58期 (H29.9~H30.8)	第59期 (H30.9~H31.8)
電力の二酸化炭素排出量の削減 【第48期 33,658kg-CO ₂ 】 【第48期 46,233kWh】	△30% 23,560kg-CO ₂ 32,363kWh	57期より△3% 23,460kg-CO ₂ 32,225kWh	57期より△3% 23,460kg-CO ₂ 32,225kWh
ガソリンと軽油使用料の削減 【第48期 91,661 kg-CO ₂ 】 【第48期 ガソリン 26,469ℓ】 【第48期 軽油 11,546ℓ】	△20.5% 72,870 kg-CO ₂ 21,043ℓ 9,179ℓ	57期より△2% 64,226 kg-CO ₂ 22,561ℓ 4,515ℓ	57期より△2% 64,226 kg-CO ₂ 22,561ℓ 4,515ℓ
自動車燃費の向上 【第50期 9.87 km/ℓ】	+30% 12.83 km/ℓ	+30% 12.83 km/ℓ	+30% 12.83 km/ℓ
環境負荷の少ないサービスや商品を提供する	4件/年	4件/年	4件/年
グリーン購入の推進	2件/年	2件/年	2件/年
一般廃棄物の削減 【第51期 394 kg】	△30% 276kg	57期より△15% 321kg	57期より△15% 321kg
水道使用量の削減 【第48期 270 m ³ 】	△52% 130 m ³	57期より△8% 144 m ³	57期より△8% 144 m ³
地域社会に向けた環境啓発活動	2か所/年	2か所/年	2か所/年

注1：電気の二酸化炭素排出量は中国電力(株)の平成22年度排出係数0.728を使用しています。

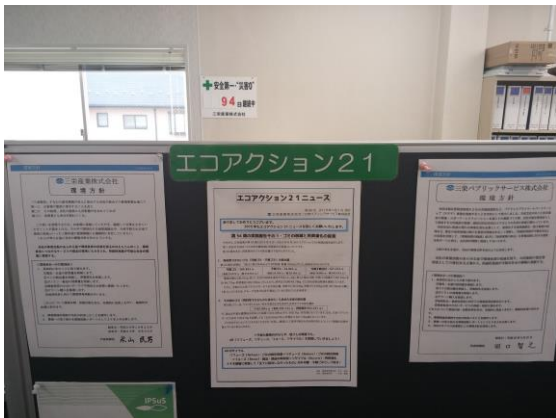
9 各現場での環境活動

三栄産業をはじめとする三栄グループでは各現場の従業員に一般的な環境に対する自覚を高める教育を定期的実施し、二酸化炭素、廃棄物、水使用量の削減を意識したサービスの提供を行うのはもちろんのこと、様々な形で環境啓発や環境負荷の低減につながる活動を行なっています。

※従業員に対しての各種教育（清掃研修・接客講習・あいサポート研修など）の実施



※「エコアクション21ニュース」の発行による全従業員への環境啓発



※エコカーテン設置



※エコ・スタック作成



※ゴミの分別の徹底、再資源化の促進

